

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-280211

(P2006-280211A)

(43) 公開日 平成18年10月19日(2006. 10. 19)

(51) Int. Cl. F 1 テーマコード (参考)
 A O 1 K 63/04 (2006.01) A O 1 K 63/04 Z 2 B 1 0 4

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2005-101240 (P2005-101240)	(71) 出願人	599035627 学校法人加計学園 岡山県岡山市理大町 1 - 1
(22) 出願日	平成17年3月31日 (2005. 3. 31)	(71) 出願人	000228349 日本カーリット株式会社 東京都千代田区神田和泉町 1 番地
		(74) 代理人	100075731 弁理士 大浜 博
		(72) 発明者	大塚 雅広 岡山県玉野市八浜町大崎 9 5 7
		(72) 発明者	久保田 一浩 群馬県渋川市半田 2 4 7 0 日本カーリット株式会社群馬工場内
		F ターム (参考)	2B104 AA08 BA09 BA14 CA01

(54) 【発明の名称】 水産系使用水の処理方法

(57) 【要約】

【課題】 養殖漁場等の水産系施設における水産系使用水中のウイルス等の効果的な防疫（殺菌、滅菌、不活化）を可能にした水産系使用水の処理方法を提供する。

【解決手段】 水産系使用水中に消毒剤として亜塩素酸ナトリウム（ NaClO_2 ）を添加して防疫処理するようにした。そして、その場合において、光を照射することにより、亜塩素酸ナトリウム（ NaClO_2 ）の活性化を図り、同亜塩素酸ナトリウム（ NaClO_2 ）の殺菌効果を向上させる一方、低濃度での使用を可能にした。

【選択図】 図 1

